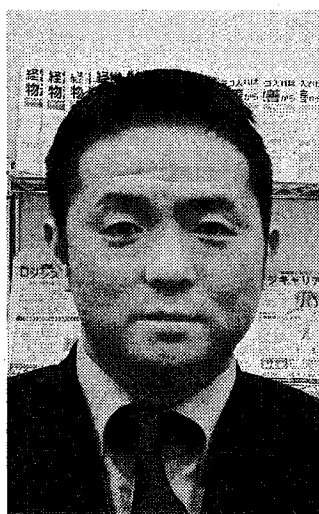


日本ロジファクトリー (青木正一社長、大阪市中央区) の物流実務カレッジ事業が、他社と提案営業力に差を付けたいと考える物流企業の間で注目されてきた。単に業界知識やプレゼンテーション能力アップを目的とした研修会と違い、受講生との対話に軸足を置いて事業を展開。青木社長は「プロの物流マンを育てていきたい」と抱負を語る。

日本ロジファクトリー/実務カレッジ

同カレッジは、業界に精通した人材が欲しい企業トップと現場水準との格差を埋めるため、昨年九月にプレ講座を開講、ことし四月から本格化させた。体系的な教育・実務研修を通じ、業界イメの物流の「プロ育成」だっ



「質を追求し、良い人めるとともに、企業から材を」と青木社長

「カリキュラムをオーダーメイド、自社の形態にどのよう告知、浸透させたい」という要望が増えるのがカギ」と課題を

当初は①物流クリエイティブをメニユーに追加した。②フレッシュマンパター③センター長実践に近い研修を行

プロの物流マン育成

指導と対話に重点置く

握、自社の弱みを補完したり強みを伸ばしたりできるプログラム編成が可能。受講者個々のスキルアップだけでなく、企業の費用対効果と時間対効果を最大限に引き出せるメリットがある。「新規開拓に成功した」という声も聞かれる。

(落合 涼二)